

令和2年8月24日

東京大学教養学部等学生支援課 御中

東京大学書道研究会

会長 [REDACTED]

提出書類③「感染リスク・感染予防対策に関する指針」

平素より東京大学書道研究会の活動におきまして、多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。令和2年8月6日以降、東京大学駒場Iキャンパスの課外活動施設の利用制限が緩和されました。つきましては、課外活動を感染防止策を徹底した上で再開させていただきたく、弊会が活動をする上で行う感染症対策を以下の通り策定します。

1) 活動内容、競技特性等について	2
① 書道研究会の通常の活動形態	2
② 感染症の観点から見た活動の特性	2
2) 感染症対策について	4
① 「課外活動再開に向けての本学の方針について(※8/3 追記)」の遵守	4
② 「柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針」の遵守	4
③ 東京大学書道研究会での具体的な感染症対策について	6
3) 活動再開決定後の流れについて	9
① 練習の再開について	9
② 柏蔭舎使用の際の他団体との連携	9
4) 本活動ガイドラインの修正	9

1)活動内容、競技特性等について

弊会における活動内容を以下に示します。

①書道研究会の通常の活動形態

- 場所:柏蔭舎、駒場コミュニケーションプラザ北館(2階多目的室)
- 時間帯:毎週金曜日 17:00-21:00
- 会員:継続生…55人(うち東大生30人)提出時の新入生…22人(うち東大生8人)
- 活動内容:展覧会に向けての練習・作品制作
- 指導員:普段の練習には基本的に参加していない。月に1回程度参加。

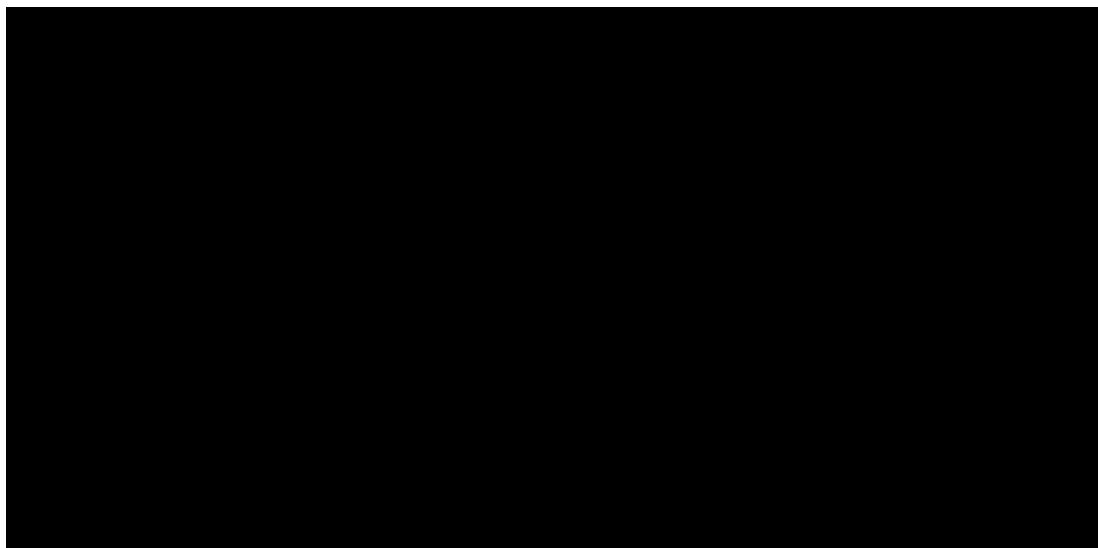
②感染症の観点から見た活動の特性

- 個人活動であり、身体的接触が少ない
- 柏蔭舎における他の活動(茶道や能など)と比較して活動中の会話が少ない
- 活動員各人が使うスペースが下敷き1枚(約1畳)に限定されており、活動中の移動が少ない

書道は、個人活動であることや、活動中の移動や会話が他の活動と比べ少ないとことから、特性上感染に対する安全性が比較的高いと考えられます。

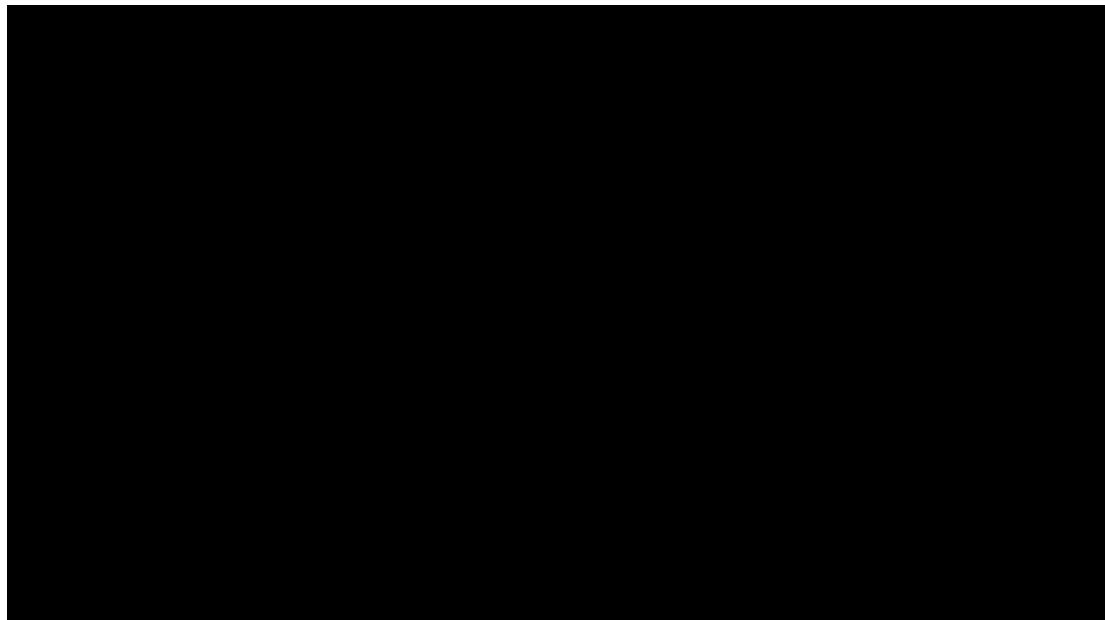
練習風景

柏蔭舎において



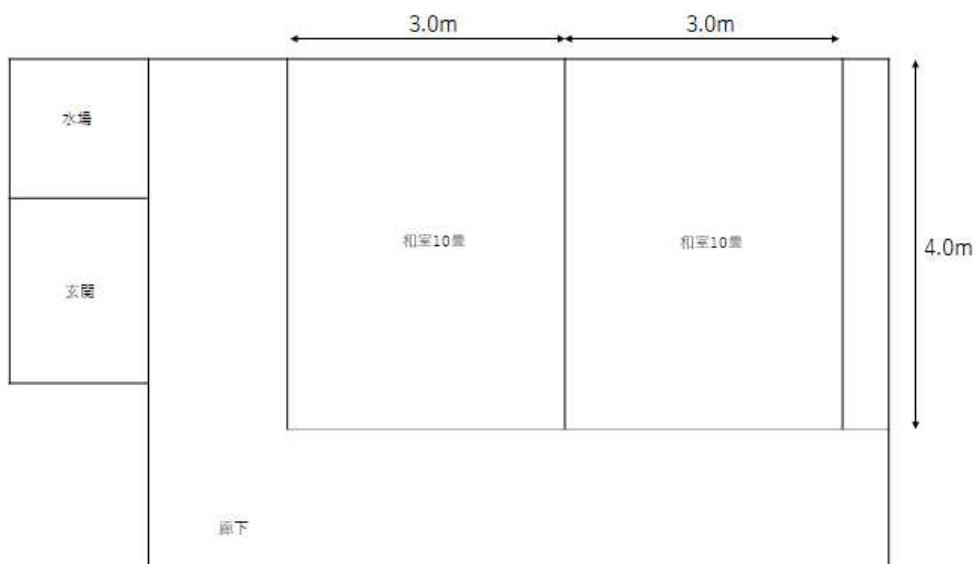
※肖像権保護のため写真は削除しています。

コミュニケーションプラザ北館(2階多目的室)において



※肖像権保護のため写真は削除しています。

図1一柏蔭舎見取り図



2) 感染症対策について

①「課外活動再開に向けての本学の方針について(※8/3 追記)」の遵守

弊会は、東京大学本部学生支援課より発出された「課外活動再開に向けての本学の方針について(※8/3 追記)」を遵守した上で、新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、活動を再開することとします。

②「柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針」の遵守

弊会は、柏蔭舎における活動について、柏蔭舎会議より発出された「柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針」を遵守した上で、新型コロナウイルス感染予防 対策を講じ、活動を再開することとします。

「柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針」本文抜粋

1. 柏蔭舎での活動における「三つの密」対策

【密閉】

1-1. 利用時間中は常時窓や戸を開けた状態にして換気を行うよう努める。困難な場合は、少なくとも 30 分に一回以上、一回につき数分間程度換気を行う。

【密集】

1-2. 身体的距離は、可能な限り 2 メートル（最低 1 メートル）を保つ。

1-3. 同時間帯での利用定員は、教養学部の定める基準に従う。

1-4. ミーティング、打ち合わせ等を行うことを目的とした柏蔭舎の利用は行わない。

【密接】

1-6. 近距離や対面での会話や大声での発声は、可能な限り避ける。活動特性上やむを得ない場合は、具体的な感染対策を講じる。

1-7. 活動参加者同士の直接の身体的接触を避ける。

2. 柏蔭舎での予防体制

2-1. 入舍時と退舍時の丁寧な手指消毒、もしくは石鹼での丁寧な手洗いを徹底する。

2-2. 活動中も必要に応じて適宜手指消毒や手洗いを行う。

2-3. マスクやフェイスシールドの正しい着用を徹底する。活動特性上やむを得ない場合は、具体的な感染対策を講じる。

2-4. 活動中に限らず、通学時も熱中症等に気をつけながら、マスクやフェイスシールドの正しい着用を徹底する。

2-5. 咳エチケットの遵守を徹底する。

2-6. 施設の公用箇所（特にツルツルした表面の部分）に触れた後は、手指に加え、触れた箇所にも消毒を行う。

2-7. 道具の共有や貸し借りは、原則として行わない。活動特性上やむを得ない場合は、具体的な感染対策を講じる。

2-8. 水分補給以外の飲食は、原則として行わない。活動特性上やむを得ない場合は、具体的な感染

対策を講じる。

2-9. 柏蔭舎利用前後に集まっての会合や食事を行わない。

2-10. その他、活動特性に沿った、具体的な感染対策を講じる。

3. 柏蔭舎利用にあたっての健康管理

3-1. 各利用団体の健康管理の担当者は、関係機関から求められた場合、速やかに活動参加者の体調記録と行動履歴を報告可能な体制を確立する。

3-2. 各利用団体の健康管理の担当者は、活動参加者に、柏蔭舎利用日の体調記録とキャンパス内の行動履歴の記録の2週間の保管を義務付ける。

3-3. 柏蔭舎利用日の朝、必ず検温を行った上で入構申請を行う。

3-4. 柏蔭舎入舎前にも、可能な限り検温を行うよう努める。

3-5. 新型コロナウイルス感染症の疑いがある症状を発症した者や、新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者と濃厚接触のあった者の柏蔭舎利用を禁止する。

3-6. 柏蔭舎利用中に活動参加者が体調に異変を来たした場合、該当者の症状を観察しつつ、新型コロナウイルス感染症の疑いがあるか否かに関わらず、状態によっては速やかに該当者の帰宅や医療機関への搬送等、適切な処置をとる。

4. その他

4-1. 各利用団体の健康管理の担当者は、柏蔭舎利用時の感染対策の履行状況を隨時確認し、徹底させる。

4-2. 柏蔭舎利用日には、必ず所定の駒場Iキャンパス入構申請を行う。

4-3. スマートフォンやタブレットを所持する活動参加者は、特別な事情がない限り、厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールを行う。

4-4. 徒歩や自転車で通学可能な活動参加者は、可能な限り公共交通機関を使わないよう努める。

4-5. 公共交通機関を利用する活動参加者は、可能な限り混雑時間帯を避けて通学するよう努める。もしくは、団体が利用時間帯を見直すことで混雑時間帯を避けられるよう検討する。

4-6. 柏蔭舎を利用する活動からの帰宅後は、可能な限りすぐ着替えるかシャワーを浴びるよう努める。

4-7. 柏蔭舎を利用する活動への参加を希望しない者に対しては参加を強要せず、不参加による不当な不利益を被ることのないようにする。

4-8. 各利用団体の健康管理の担当者は、活動参加者の個人情報を、必要な範囲で関係機関に報告する以外の目的で閲覧、利用しない。個人情報の流出にも十分注意する。

4-9. 各利用団体内で新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、感染者は大学へ所定の感染報告を行うとともに、該当利用団体の健康管理の担当者は速やかに柏蔭舎議長ならびに教養学部学生支援課へ報告する。報告の際の情報提供は必要な範囲で行い、個人情報の流出や該当者のプライバシー確保に最大限配慮するとともに、該当者が感染による差別や不当な不利益を被ることのないようにする。

③東京大学書道研究会での具体的な感染症対策について

①②に加えて弊会で実施する具体的な感染症対策は以下の通りです。

活動時には以下の対策を講じて活動します。「練習前」「練習中」「練習後」「練習以外での対策」の4つに分けております。番号は、②の抜粋部分に対応する形で記載しました。

(ア)練習前

- 『柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針』に基づき、検温を実施健康管理担当者は、活動参加者の体調記録を確認し、発熱などの症状がある場合は参加させない。(『柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針』にも明記)。
- 徒歩や自転車で通える部員には公共交通機関を使わないことを推奨する。
- 各自駒場キャンパスにおいては、正門からのみ入構する。
- 会員には熱中症などには気をつけながらのマスクの着用を徹底させる。
- 洗い場にハンドソープ、アルコール消毒液を準備する。
- 到着後は洗い場で 30 秒間の手洗い及びアルコール消毒をすることを徹底させる。その際、洗い場には手洗いを 30 秒間行うよう指示する掲示を行う。
- 会員にはハンカチと手袋(ゴム製かビニール製、軍手は不可)を持参させる。
- トイレは柏蔭舎裏のもののみを使用する。使用後は手洗いと手指のアルコール消毒を行う。
- 準備中は手袋を着用し、他の会員と1m 以上の距離を保つ。

(イ)練習中

●柏蔭舎利用定員

1-2. 身体的距離は、可能な限り 2 メートル（最低 1 メートル）を保つ。

1-3. 同時間帯での利用定員は、教養学部の定める基準に従う。

「駒場 I キャンパスにおける課外活動施設の一部利用再開について」の「1.利用を再開する課外活動施設と利用人数の上限」では柏蔭舎の利用定員は「若干名」となっています。これは書道以外の活動をすることも含めた設定で、書道におけるソーシャルディスタンスの確保より厳しい基準になっていると思われます。

よって、書道研究会ではステージイエロー内に細かいフェーズを設けることで、段階的な活動再開をしたいと考えています。なおこの方針は、大学と協議のうえ、一部変更して活動再開も検討します。

駒場キャンパスにおけるステージ	ステージオレンジ	ステージイエロー		ステージグリーン
フェーズ	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
練習参加人数	0 人	4 人	8 人	制限なし

フェーズの移行に関しては 1 週間にごとに情勢を判断し、変更の場合、学生支援課に申請したうえで許可

を頂き、移行します。活動再開から暫くはフェーズ2とし、感染対策 の実施により人数を増やして活動する一定の目処がついたときにフェーズ移行申請をします。

練習参加人数が4人の場合と8人の場合の配置と動線は以下の図2、図3の通りです。

図2-4人の場合

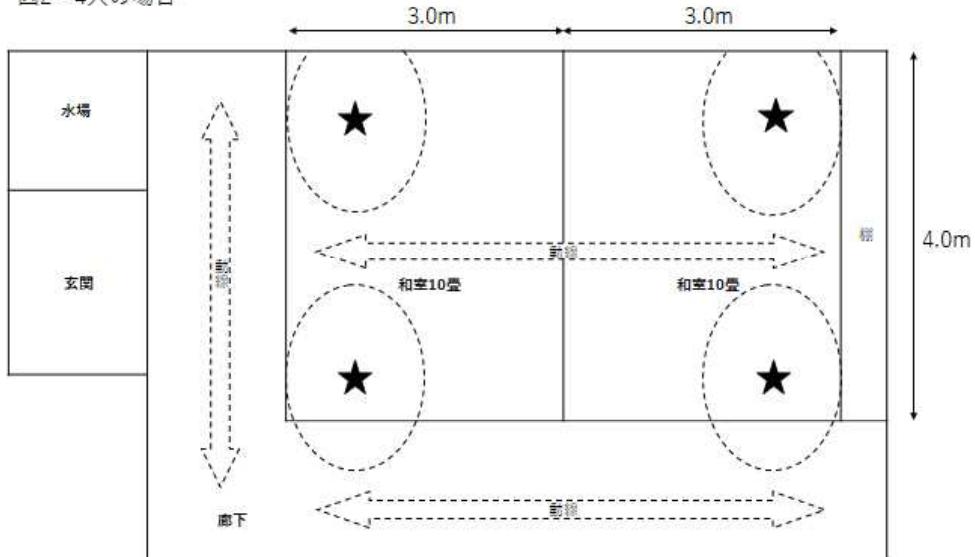
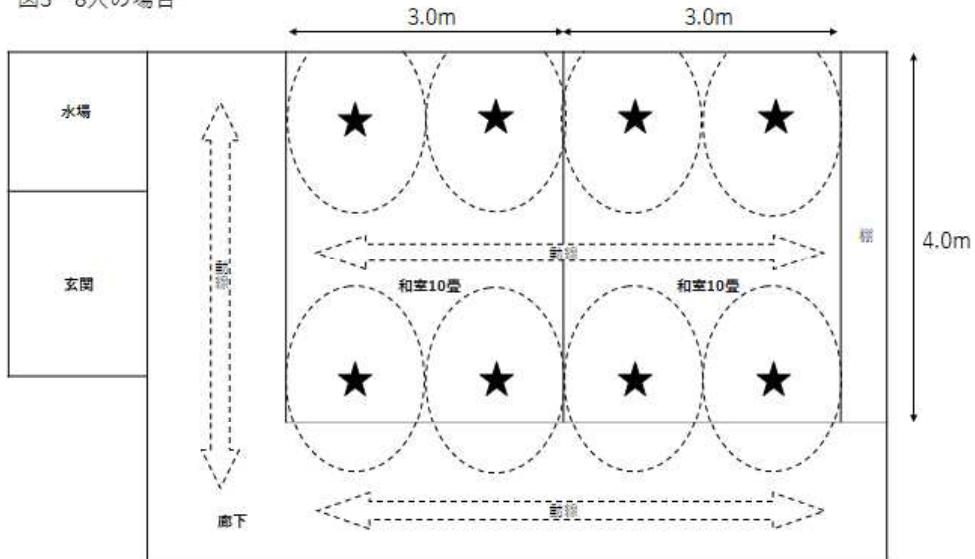


図3-8人の場合



●道具の共用

2-7. 道具の共有や貸し借りは、原則として行わない。活動特性上やむを得ない場合は、具体的な感染対策を講じる。

弊会では、用具として筆、紙、墨汁、墨池、下敷き、文鎮、本を共用しています。それについての具体的な感染症対策を以下に記載します。

筆…基本は持参し、新入生が会のものを使うときは柄の部分をアルコール消毒する

紙…自分の使うもの以外には触らない

墨汁…触るときは個人の手袋をする

墨池…最初と最後に洗う、他人の使っていたものは使わない

下敷き…会のものを個人専用にして保管し、他人のものは使わない

文鎮…最初と最後にアルコール消毒する

本…借りるときと返すときは個人の手袋をする

●活動中の定期的な消毒

アルコール消毒液を柏蔭舎内に置き、活動中 1 時間に 1 回を目安に手指を消毒する。また、練習前に自分が座る場所のブルーシートをアルコール消毒する。

(ウ)練習後

- 片づけ中は手袋を着用し、他の会員と1m 以上の距離を保つ。
- 墨池や文鎮などは、墨を落とした後にアルコール消毒する。
- 施設内の共用箇所(窓や扉の取っ手など)はアルコール消毒する。
- 退出前は洗い場で 30 秒間の手洗い及びアルコール消毒をすることを徹底させる。
- 施設の鍵は返却前にアルコール消毒をする。

(エ)練習以外での対策

- 日常生活で感染症対策として意識すべきこと(「夜の街」への外出自粛、手洗いうがい、練習前後の不要不急の外出自粛)を、会員に周知(添付資料『日常生活における感染予防チェックリスト』参照)する。
- ミーティングは全てオンラインで実施する。
- 会員間での外食は自粛するように周知する。
- 感染が多く報告されている繁華街での外食等を禁止させる。
- コンパなどは当面の間禁止。オンラインでは可。
- 会員向けに、遵守してもらいたいことをまとめたリストを作成し、ルールの完璧な理解を促す。

3)活動再開決定後の流れについて

活動再開が承認され次第、以下に記載する流れに従って、感染症対策を徹底しながら順次活動を再開していく予定です。

①練習の再開について

『柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針』および東京大学書道研究会における感染症対策を万全に遂行する準備が整った後に練習を再開します。

②柏蔭舎使用の際の他団体との連携

日常的に柏蔭舎を使用する団体は主に裏千家茶道同好会、茶道部、尺八部、書道研究会、能狂言研究会、観世会、百人一首同好会、日本舞踊研究会があげられます。複数の団体が再開した場合に共通の柏蔭舎使用ルールが必要となるため、書道研究会は各団体の責任者と連携し、柏蔭舎のガイドラインを作成しました。

4)本活動ガイドラインの修正

この活動ガイドラインは感染拡大状況や、COVID-19 に対する新たな発見、治療法の確立により変更する必要があります。その際は以下の手順を踏んで、変更いたします。

- ①東京大学書道研究会会長、衛生管理担当者を中心に改訂版を作成。
- ②会員の承認を得る。
- ③大学に提出して承認を得る。
- ④改訂版のガイドラインに移行。

〈参考資料〉

▽本部学生支援課長、「課外活動再開に向けての本学の方針について(※8/3 追記)」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/policy-about-restart-of-activities.html>

▽柏蔭舎会議、「柏蔭舎の新型コロナウイルス感染症対策に関する指針」

▽東京大学 新型コロナウイルス感染症 e ラーニング教材

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/COVID-19-elearning.html>

▽東京大学運動会男子フィールドホッケー部、提出書類③「感染リスク・感染予防対策に関する指針」

https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_%E3%80%90%E4%BD%9C%E6%88%90%E4%BE%8B%E3%80%91%E6%B4%BB%E5%8B%95%E8%A8%88%E7%94%BB%E6%9B%B8%EF%BC%88%E9%81%8B%E5%8B%95%E4%BC%9A%E7%94%B7%E5%AD%90%E3%83%9B%E3%83%83%E3%82%B1%E3%83%BC%E9%83%A8%EF%BC%89.pdf